

|    |          |            |                     |
|----|----------|------------|---------------------|
| 分野 | 人が輝くくまもと | 戦略         | 子どもたちの「夢への架け橋」となる教育 |
|    |          | 重点的に取り組む施策 | 豊かな心をはぐくむ教育の充実      |

| 番号 | 事業名<br>担当課                   | 予算・決算<br>(千円)<br>上: H22予算<br>中: H22決算<br>下: H23予算 | 事業の概要  | 事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等   |
|----|------------------------------|---|--|--|
| 1  | 「かがやけ！肥後っ子」事業                | 3,589   | 県民一体となって「くまもと」の子どもをはぐくむ環境づくりを推進し、「夢」のある活動の実現に向けて生きていくための基盤づくりを行うために、幼稚園・保育所等、家庭、地域社会、行政機関の連携を深めるとともに、人格形成の基礎を培う幼児期の教育・保育活動の充実に向けた研修等を実施する。 | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・夜10時前までに就寝する子ども(3歳児～小3)の割合は、昨年度とほぼ同じで70%を超えた。<br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性<br>・基本的生活習慣の定着等を図るために、研修や評価等の充実を通して、教育・保育内容、指導・援助方法の工夫改善を図るとともに、幼・保等、小、中の連携を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進する。  |
|    | 教育庁<br>義務教育課                 | 2,903   |  |  |
| 2  | いじめ・不登校対策総合推進事業              | 59,447  | いじめ・不登校の積極的予防と解消を図るため、教職員等に対しカウンセリング技能を高める研修を実施するとともに、スクールカウンセラー(ＳＳＷ)やいじめ・不登校アドバイザー等を配置し、学校における教育相談体制を支援する。                                | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・「今の学年になっていじめられた」と回答した児童生徒の割合が平成22年度は10.3%であり、不登校児童生徒の割合も平成22年度は0.9%となり、ともに減少した。<br><br>事業実施上の課題、今後の改善の方向性<br>・いじめ・不登校ともに改善傾向にはあるが、依然として憂慮すべき状況である。今後も、未然防止と解消に向け、教職員の意識の向上を図るとともに、心の居場所としての魅力ある学校づくりを推進してもらう必要がある。  |
|    | 教育庁<br>義務教育課                 | 55,844  |  |  |
| 3  | 子どもたちの未来を拓く教育環境改善事業          | 48,178  | 学校だけでは解決が困難な、家庭環境等に起因する不登校等もみられるため、スクールソーシャルワーカー(ＳＳＷ)を各教育事務所等に配置し、子どもを取り巻く環境の改善を行う。  | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・各教育事務所及び熊本市教育委員会にスクールソーシャルワーカー(ＳＳＷ)を配置し、子どもを取り巻く教育環境の改善に取り組んだ結果、558人の児童生徒及びその家庭に対して、継続して支援を行うことができた。<br><br>事業実施上の課題、今後の改善の方向性<br>・生徒指導上の諸問題解決のためには、福祉や医療機関等も含めた市町村レベルでネットワークづくりが必要である。今後もスクールソーシャルワーカー(ＳＳＷ)を各教育事務所等に配置し、不登校等の状況にある子どもたちの環境を改善するための支援を行う。   |
|    | 教育庁<br>義務教育課                 | 44,636  |  |  |
| 4  | 教育情報化推進事業<br>(安心安全ネット社会推進事業) | 14,616  | 携帯電話の普及に伴い、学校非公式サイト(いわゆる「学校裏サイト」)等を通じたネットいじめ等が社会問題化しているため、専門業者に委託して、学校非公式サイトを検索・削除代行等を行う。  | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・県内の公立学校265校を対象に学校非公式サイトの実態調査を実施。不適切な書き込みについて関係機関と連携し児童生徒を指導。平成21年度と比較して、不適切な書き込みを4割削減できた。<br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性<br>・調査結果に基づく指導資料や啓発リーフレットの作成、情報モラルのモデル授業の開発等により、児童生徒に対する指導を支援。  |
|    | 教育庁<br>教育政策課                 | 13,065  |  |  |
| 5  | 輝く人づくり推進事業                   | 565   | 道徳教育推進協議会を開催し、方針、指標、具体的な方策等についてとりまとめ、学校・家庭・地域が連携した道徳教育の推進を図るとともに、人生の模範となる郷土熊本の先人等を題材とした道徳教育用教材の開発・作成を行う。                                   | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・道徳教育推進協議会において、具体的な道徳教育の推進等や郷土熊本の先人等を題材とした道徳教育用教材の開発・作成について協議した。<br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性<br>・郷土熊本の先人等を題材とした道徳教育用教材を開発・作成し、学校・家庭・地域が連携した全県的な道徳教育を推進する。  |
|    | 教育庁<br>義務教育課                 | 253   |  |  |
| 6  | 子どもの読書活動推進事業                 | 1,022   | 「肥後っ子いきいき読書プラン」第二次計画に基づき、すべての子どもたちに読書のよさを伝えるとともに将来の夢を育むことができるよう、読書応援ボランティア養成講座や熊本県子どもの読書活動推進フェスティバル等の開催や読書環境の改善を進め子どもの読書活動を支援する取組である。      | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・読書応援ボランティア養成講座を開催し、ボランティアの資質向上や学校図書館における活動のあり方についての研修を行った。参加者からは、とても参考になったとの意見が聞かれた。<br>・「図書館づくりプランナー事業」として、県内小・中学校へプランナーを派遣し、学校図書館の環境づくりや図書選定の提案を行い、派遣した学校では読書環境の改善が図られた。(平成22年度実績:138校へ派遣)<br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性<br>・小・中学校で、子どもの読書活動推進のために活動したいという読書ボランティアのニーズに対し、活動の場が十分に確保できていない。<br>・読書ボランティアの育成と、その活用を進め、図書館づくりプランナーの活動と協働して、子どもの読書環境の改善を図っていく。 |
|    | 教育庁<br>社会教育課                 | 639   |  |  |

| 番号 | 事業名<br>担当課                                      | 予算・決算<br>(千円)<br>上: H22予算<br>中: H22決算<br>下: H23予算 | 事業の概要  | 事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等  |
|----|---|---|--|---|
| 7  | 「親の学び」推進事業<br><br>教育庁<br>社会教育課                  | 5,404<br><br>4,211<br><br>5,957                   | 保護者の子育てをするうえでの悩みや不安に対応するとともに、家庭教育力の向上を図るための学習機会、情報、相談機会の提供等を行う。特に、各家庭における教育力の向上を図るために、家庭教育講座で利用可能な生活習慣等に関する系統的な学習プログラム（くまもと「親の学び」プログラム）を作成し、指導者を県内各地で育成する。   | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・「親の学び」プログラムスマイル（小学生期）編の作成とスタート（乳幼児期）編の普及啓発を行った。（講座202回、参加者8,362名）また、「くまもと家庭教育10か条」「早寝早起き朝ごはん」運動について広く広報しその推進を図った。<br>・すこやか電話相談事業では、年間249件の家庭教育に関する相談あり、夜間や休日に対応できる数少ない相談先として機能している。<br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性<br>・課題としては、このプログラムの周知活用がまだ不十分であることがあげられる。今年度は、昨年度作成したプログラムスマイル（小学生期編）の普及と進行役の養成講座、プログラムトレーナー派遣事業を通して指導者の育成を図るとともに、新たに、中高生長期編のプログラムを開発する。<br>・すこやか電話相談事業では、更なる周知の徹底を図る。 |
| 8  | 「夢への架け橋」教育支援事業（家庭教育支援員配置事業）<br><br>教育庁<br>社会教育課 | 6,728<br><br>6,254                                | 家庭教育に関する情報提供や学習機会の提供、家庭・教職員からの求めに応じた家庭教育に係る相談対応等を行う家庭教育支援員（退職教員等）を小学校に配置することにより、学校と連携して各家庭の実態に応じたきめ細かな家庭教育支援を行う。（平成22年度で終了）  | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・本事業により、配置校では、課題を抱える家庭を訪問し支援を行ったり、教員だけではできない情報提供や講座の開催ができるようになったとの成果が報告されている。<br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性<br>・本事業については、「地域教育コーディネーターの育成・活用事業」において、市町村への補助事業として実施していく。<br>平成22年度終了事業   |
| 9  | 地域教育コーディネーターの育成・活用事業<br><br>教育庁<br>社会教育課        | 20,650  | 地域の実情に応じ、各市町村が行う、学校・家庭・地域の連携を図り子どもの健やかな成長のためのさまざまな取組を支援し、社会全体の教育力の向上を図る。そのために地域教育コーディネーターを配置し、地域のネットワークを構築して学校支援地域本部や家庭教育支援の取組を推進する。国と県の補助事業で事業費の2/3（国、県ともに1/3を補助）を補助する。併せて、コーディネーターの質の向上、育成を図るために研修事業も行う。 | 平成22年度の取組みの実績、成果<br><br><br><br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性<br>・本年度からの新規の補助事業であり、市町村の実施状況等を把握し、的確な指導・助言が必要である。<br>・未実施市町村への普及・啓発が必要である。  |
| 10 | 放課後子ども教室事業<br><br>教育庁<br>社会教育課                  | 31,928<br><br>17,848<br><br>21,861                | 「放課後子ども教室」は、各小学校区で放課後や週末等に、小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々との参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する。国と県の補助事業で事業費の2/3（国、県ともに1/3を補助）を補助する。  | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・県内30市町村69の小学校で実施。県として、放課後子どもプラン推進委員会による推進方策の検討、指導者の資質向上のための指導者研修会を実施。また、事業の推進のため啓発リーフレットを作成し、各関係機関へ配布、事業内容の理解促進につながった。<br><br>事業実施上の課題、今後の改善の方向性<br>・放課後子どもプラン事業として、放課後児童クラブとの連携や活動内容の更なる充実が必要。そのため合同による指導者等の研修会を実施する。放課後子ども教室の啓発資料として実践事例集を作成し、配布する。  |
| 11 | 各種人権教育研修事業<br><br>教育庁<br>人権同和教育課                | 2,515<br><br>1,597<br><br>2,354                   | 人権教育推進のために、管理職及び人権教育主任等の同和問題をはじめ様々な人権問題についての認識を深め、実践的指導力の向上を図る。  | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・講話、実践発表等の充実により、満足度が90%を超えた。校長等人権教育研修会（96%）人権教育フォーラム（98%）<br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性<br>・校種間連携を図るため、参加体制の改善を図る。<br>・研修内容を学校全体での取組みに活かすため、具体的な実践をもとにした講話や実践発表等により、成果や課題を共有できるようにする。   |
| 12 | 人権フェスティバル事業<br><br>教育庁<br>人権同和教育課               | 1,747<br><br>1,724<br><br>1,736                   | 熊本県人権教育・啓発基本計画の趣旨を踏まえ、子どもを主体とした活動を通して、すべての人々の人権意識の高揚を図る。   | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・人権子ども集会では、約7200人の参加があり、体験・活動報告などにより、参加者の人権意識の高揚につながった。<br>・子ども作品展の会場を3箇所を増やし、テーマ「命と人権」に沿った作品の展示により、県民への啓発が推進できた。<br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性<br>・学校や地域における成果が共有され、人権教育の充実や県民の人権意識の高揚につながるよう、運営方法の工夫・改善を図る。   |
| 13 | 性に関する教育推進事業<br><br>教育庁<br>体育保健課                 | 2,155<br><br>2,003<br><br>2,623                   | 10代における人工妊娠中絶実施率及び性感染症の罹患率が高いという喫緊の健康課題に対応するため、性に関する教育の担当者を対象とした研修会を開催するなど学校における性に関する教育の充実を図る。   | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・管理職研修会を開催し、学校長のリーダーシップの下、学校総体として性に関する教育に取組む体制づくりの意識化が図られた。<br>・県教育委員会が作成した「性教育の手引」の活用率90%。<br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性<br>・性に関する教育についての教師の指導力の向上と学校間格差の是正を図るため、性に関する教育の担当者研修会を開催する。<br>・児童生徒の実践力を高めるため、各学校において授業実践及び性教育講演会を開催し、性に関する教育の一層の推進を図る。   |

| 番号 | 事業名<br>担当課       | 予算・決算<br>(千円)<br>上：H22予算<br>中：H22決算<br>下：H23予算 | 事業の概要   | 事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等   |
|----|------------------|--|---|--|
| 14 | 薬物乱用防止教育推進<br>事業 | 542  | 喫緊で深刻な課題である薬物乱用問題に対応するため、管理職を対象とした研修会を開催し、学校における薬物乱用防止教育の充実を図る。 | 平成22年度の取組みの実績、成果<br>・管理職研修会を開催し、学校長のリーダーシップの下、学校総体として薬物乱用防止教育に取り組む体制づくりの意識化が図られた。<br>・各学校で開催される薬物乱用防止教室の開催率100%。<br><br>事業推進上の課題、今後の改善の方向性 |
|    | 教育庁<br>体育保健課     | 451  |   |  |